



12/13(金)チャレンジ・ランニング大会を開催しました。気温は低いものの穏やかな晴天のもと、子供たちは、①「たくましい心と体をつくる」、②「がんばりを認め合う仲間づくり」、③「自分のペースで走り抜く」という大会の3つの目的の達成に向けてチャレンジしました。保護者、地域の方々からの熱い声援のもと、これまでの自分を超えようというチャレンジ精神で最後まで走りぬいた子供たちの顔は、達成感に満ち溢れていました。この成功体験を、次の目標達成に繋いでいきたいものです。

“しあわせになれる4つのきもち”

文部科学省の第4期教育振興基本計画（2023年策定）では、2つのコンセプトとして「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられています。ウェルビーイング（well-being）とは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを指す言葉で、「幸福」という訳語が当てられることが多いようです。

本校では、集会等の校長講話で、学校生活や家庭生活において「心も体もよい状態」で過ごすことを「しあわせ」と捉えて、「しあわせになれる4つのきもち」について子供たちと一緒に考えています。これは、慶應義塾大学教授の前野隆司氏の研究グループが導き出した「幸せの4つの因子」をヒントに本校の子供たちにわかりやすい言葉で示したものです。ご家庭でも、子供たちの「しあわせ」について一緒に考えてみてください。



しあわせになれる4つのきもち

- やってみよう …… 夢や目標を達成しようと努力する
- ありがとう …… 多様な人とつながり感謝する
- なんとかなる …… 物事を前向きにまた楽観的にとらえる
- ありのままに …… 自分らしく他の人に左右されずに生きる